

# 食育&給食だより



## 1月給食目標 感謝の気持ちをもって食べよう

日頃みなさんが食べている給食<sup>きゅうしょく</sup>が出来る<sup>できあ</sup>がる<sup>がる</sup>までには、多くの人たちの協力<sup>きょうりょく</sup>が必要です。どんな人たちが関わっているかを知り、「ありがとう」の気持ち<sup>きもち</sup>を忘れず<sup>わす</sup>れずに食事<sup>しょくじ</sup>をいただきましょう。



感謝の気持ちを表す  
「いただきます」と「ごちそうさま」

いただきます  
…には、「私の命をつなぐために、生き物の命を『いただきます』という意味が込められています。」

ごちそうさま  
…には、漢字で「ご馳走様」と書き、「馳走」は「走り回る」という意味で、「この食事を作るために食べ物を育てたり、集めたり、料理をしたり、あちこち走り回っていただき、ありがとうございました」という意味があります。

1月24日~30日は、全国学校給食週間です!

日本の給食は明治22年山形県鶴岡町で始まりました。当初は、貧しい子供たちを救済するために無料でおにぎりや焼き魚、漬物が用意されたことが始まりだと言われています。昭和29年の「学校給食法」の公布により、教育の一環としてとらえていくこととなりました。



### 学校給食の移り変わりを見てみよう!

**明治22年**

しりつちゅうあいしょうがっこう 私立忠愛小学校で提供されたおにぎりや焼き魚の給食。

**戦後(昭和20~30年代)**

しえんがっし だっしふんにゆう 支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。

**現在**

ちいき 地域で取れる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。

献立の種類や品目が増えてきているね!

